

## 第6回 新発田駅前複合施設基本設計ワークショップ 会議概要

- 1 開催日時：平成26年1月22日（水） 午後6時30分～午後9時00分
- 2 開催場所：地域交流センターあおり館 屋内広場
- 3 参加者数：28名
- 4 傍聴者数：5名
- 5 日 程：

### 内容

#### (1) 開会

#### (2) 経過説明

##### ①新発田駅前複合施設基本設計案について

これまでのワークショップでの検討、先進地視察、提案箱、高校生アンケート等様々な提案をいただき検討を重ねてきた結果を、12月8日に計画案としてお示しした。12月10日案では、延床面積が6,600㎡であり、当初想定していた6,040㎡よりも約600㎡増えている。また、当初の概算事業費は22億5千万円とし基本設計を進めたが、規模が大きくなったこと、人件費及び資材費の高騰などがあり、相当の事業費が拡大した。市の今後予定している事業など財政計画を勘案すると、縮小せざるを得ない状況となった。

これから説明する案は、延べ床面積が約5,200㎡、駐車場を含めると約7,300㎡の案となった。土地の有効活用、建物内の見通し、施設コンセプト、これまでの皆さんとの議論の積み重ねはできるだけ残す形として計画案を作成したことから、ご理解願いたい。

##### ②基本設計の工期変更について

12月24日までの工期を1月31日までの工期に変更した。

##### ③提案箱及び高校生アンケートの結果概要説明について

要望の多かった機能は、カフェの設置、屋外テラスの設置、屋内に飲食スペースの設置であった。

##### ④基本設計審査会について

第5回基本設計審査会で出た意見・要望（キッチンスタジオの食材搬入路、菱型案と方形案との比較、模型の提示、壁面とガラス面の表示、1階から2階に上がって行きたくなるような仕掛け）を踏まえ、第6回基本設計審査会において説明・回答を行った。審査の中では、「面積は縮小すべきではない。」、「説明は受けたが、この菱型の形状は納得できない。」、また、「この計画案で進めるべきである。」などの意見があったが、最終的に、審査会としては、この計画案を了承するというまとめをいただいた。

#### (3) 計画（案）説明

- ・新発田駅前複合施設基本設計案の説明

#### (4) 基本設計案についての質疑応答

意見1 これまでワークショップで積み上げてきた結果である4階建てから、審査会での比較検討を行う前に、3階建てに修正されたこと、また、修正されても当初予算2億2千万円から3億2千万円に増大していることに対し、市民が理解できるように説明すべきである。

また、施設形状について、菱形ありきで、方形案の熟慮がなく、不十分で安易な比較検討である。

短時間で4階建てから3階建てと大きく計画変更されたにも関わらず、ワークショップを事後説明の報告会としようとしていること、異論があるにも関わらず、拙速に計画を進めることが非常に残念である。

このやり方は将来に禍根を残すと思う。名誉市民である坪川氏は、図書館を建設された時は、資材が安く、競合しない時期を選んだとのことであり、今の時期に図書館を建設することで手抜き工事にならないか心配である。

質問1 複合施設と言っても図書館が核である。図書館は地方の文化を図るバロメーターである。蔵書数が4万4千冊から40万冊を切っている。今後、将来を見据えた場合、増加することはできるのか。

回答1 4万冊程度減っているが、将来的な増加ができる配架方法となっている。

質問2 施設の形が平行四辺形であるが、無駄なスペースはできないか。小布施や明治大学図書館の事例が出たが、この図書館の実際の反響はどうか。

回答2 基本設計審査会において、計画案と方形案の比較検証を行ったが、蔵書数・座席数・事業費等の効率に大きな差は見られない。また、小布施図書館や明治大学図書館の評判は良いと聞いている。

質問3 3階で切られている部分があるが、この部分は使えないのか。

回答3 事業費を縮減する中で、最大限取れる面積・必要な機能・繋がりを考えた結果である。

質問4 このTELは何か。公衆電話か。

回答4 携帯電話などが使えるスペースである。

質問5 ガラス面が多く、冷暖房の効率はどうか。プレイルームは床暖房が良いと考える。

回答5 熱効率は考えて設計している。模型では、壁面とガラス面でしか作っていないが、窓や腰壁等は今後の実施設計で詰めていきたい。また、プレイルームは床暖房を考えており、他のフロアも床からの吹上方式による冷暖房を考えてい

る。

質問6 これからはIT時代である。どのように考えているか。

回答6 無線LANや多目的室のAV機器をどうするかなど、実施設計で考えていきたい。

質問7 以前よりまとまっている。方形よりコストアップする部分はあるのか。構造的にはどうか。

回答7 前回よりもシンプルな計画案となっていることから、コストアップの部分はないものと考えている。また、構造的には、三角形のグリッドで構造を考えており、合理的な形である。

質問8 階ごとの座席数はいくらか。

回答8 詳細な席数ではないが、概ね1階170席（多目的室含む）、2階200席、3階100席である。

質問9 塩尻のえんパークにはフリースペースが多くあった。今回の計画案は良くまとまっていると思うが、フリースペースが少ない。フリースペースを多くしてほしい。また、設備についてだが、ガスヒートポンプ式であればこんなに空調機械室がいらないので、検討してほしい。

回答9 フリースペースは1階部分を考えている。運営にもよるが2階部分にも可能と考えている。また、設備については、この計画案もガスヒートポンプ式で考えているが、空調機械室がある程度必要になってくる。

質問10 2階のおはなし室の外に屋外利用できるスペースがあれば良い。

回答10 2階ではなく、3階部分には、テラスを設けている。2階部分については、検討させてほしい。

意見2 現図書館の蔵書が新図書館にどのように移るのか計画があると思うが、運営ワークショップの時には示してもらいたい。現図書館のように使い勝手を悪くしないよう見通しをもった計画を示してほしい。

質問11 現図書館の蔵書数の内訳を教えてください。すばらしい図書館を作りたいという思いがあるが、蔵書数、座席数については、不足している。このワークショップをないがしろにした感もある。再度、図書館を充実させてほしい。

回答11 現在、計算し直したものがあるが、本日、持ち合わせていないため、後日、回答したい。

今後の見通しであるが、現在の図書購入費は約 1,000 万円であり、他市町村と比べても少ない状況である。今後、新しい施設ができることによって、要望していきたい。

意見 3 賛否あるが、素晴らしい計画を作ってくれた佐藤総合計画に感謝したい。このまま進めてもらいたい。

質問 12 駅前図書館は分館なのか、本館なのか。

回答 12 駅前図書館には、図書館機能の一般図書、児童図書、分館機能が複合施設の中に入る。

質問 13 蔵書数についてだが、近隣には、県立図書館、北区図書館、聖籠図書館もある。国会図書館でないのだから、全ての本を集める必要はない。これからの図書館は必要な図書を配架すれば良く、蔵書数だけを比べる必要はないのではないか。

また、多目的室がガラス張りなのかどうか。スクリーンへの光の差し込みや飲食の問題等はあるが検討してほしい。また、空調設備については、個々の部屋で温度調整ができるようにしてほしい。

回答 13 ガラス張りの多目的室については、用途に応じてブラインドを設置したいし、個々の部屋で温度調節ができるようにしている。

意見 4 計画案はうまくまとめていると思う。また、学生や高齢者の憩いの場所、育児中の方々も使える施設であり、素晴らしい建物になると思う。

質問 14 大変素晴らしい設計案である。3点質問したい。

1階の多目的は用途によって区切って使えるようにしたらどうか。3階のテラスの西日対策はどうか。屋根の落雪対策はどうか。

回答 14 仕切りについては、検討したい。3階テラスについては、屋外であるので西日対策までは考えていないが、検討したい。落雪対策については、雪を落とさない屋根として計画している。

質問 15 蔵書のことについて、現在の図書館が開館する時、傷んだ本を出した経緯がある。今回は、本当に手に取って読みたい本を集めてほしい。また、駅前複合施設の図書館機能には、学校施設の支援センター機能も設けるのか。中央図書館の機能を持つところが本館となるものと考えている。

回答 15 傷んだ本にも貴重な本があるので、一概に良し悪しは言えない。えんぱーくのように見通しを良くするために、意図的にすきまを空けて配架する方法もある。

る。

学校支援センター機能については、読み聞かせ程度から新潟市のように司書を置いて支援するものまで幅が広い。

意見5 新潟市のような支援を目指して取り組んでほしい。また、決して古い本を排除するという考え方ではない。

質問16 暖房の件で、床吹き出しとあるが、夏場の間は機能していないので、そのためだけの機械室ではもったいないのではないか。また、床吹き出しの暖房はあまり聞いたことがない。また、音楽練習室の天井高さは高くしてほしいし、多目的室の壁の遮音対策はどうか。

回答16 裸足で遊ぶような箇所は床暖房で考えている。空調機械室は、暖房だけでなく冷房のためでもあるので、必要なスペースである。

音楽練習室の天井高さについては、今後、検討したい。遮音については、どの程度の遮音レベルにするかは、用途に応じて変わってくる。今の段階では、多目的室（学習・発表）でバンド演奏とかまでは考えていない。

質問17 将来的な蔵書数は毎年数パーセント増加していくはずであるが、どのくらいを考えているか。この計画案である蔵書数で足りるということか。

回答17 まずは、枠の中で考えていくことになる。購入していく図書、除籍していく図書がある。雑誌で言えば2年間である。何を残し何を除籍していくか考えていく必要がある。今の図書館は地域課題を解決するための図書が必要であり、それは地域それぞれ違いがある。今後、考えていきたい。

将来的な蔵書数とあるが、現在も、入りきらない図書については、別の市有施設に保管してあり、必要であれば取りに行っている。スペースが足りないとあれば、このようなやり方も必要と考えている。

## (5) 今後のスケジュール

### ①実施設計について

2月上旬から実施設計に入り、秋頃から本体工事に着手し、平成28年3月には完成させたい。その後、図書の移行など準備期間を含め8月頃にはオープンさせたい。

### ②市民参画について

ワークショップなどの市民参画を考えているが、どのような形式で行うか検討しているところである。管理運営については、基本的な事項の考え方を市内部で整理した後、改めて、広報・ホームページで周知していきたい。概ね年度末、年度明けの募集を考えている。

意見6 図書館は、読みたい本があるから行くだけではない。市民がまちの主人公になるための学習を支えるのが図書館である。このワークショップに関わって、色々な人と知り合い、意見を聞いて、ようやく市民になれた気がする。しかし、このワークショップはなんだったのかとも思う。全ての意見が取り入れられるとも思っていないが、結局は決まっていて、必要な所だけ取り入れられたと思っており、がっかりしている。

市民と行政が共にまちづくりをするというのはどういうことか、市民をがっかりさせないでほしい。次回のワークショップは、市民の意見で新発田がもっと良くなっていくようなものをお願いします。